

アジア最大級のマーケティング国際カンファレンス 「ad:tech tokyo 2022」にエン・ジャパン登壇 ーデジタルマーケティング部 田中・福島が自社事例を紹介ー

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）のデジタルプロダクト開発本部 デジタルマーケティング部 部長 田中奏真、クリエイティブグループマネージャー 福島愛が、2022年10月20日（木）、21日（金）に開催された「ad:tech tokyo 2022」（<https://adtech-tokyo.com/ja/>）に登壇いたしました。

「ad:tech tokyo 2022」開催概要



「ad:tech」は世界の主要都市で開催される国際マーケティングカンファレンスです。広告主、エージェンシー、ソリューションプロバイダー、メディアなど、各ジャンルのマーケターが集まります。日本で開催される「ad:tech tokyo」は2009年から始まり、2022年で14回目を迎えました。

登壇の様子



田中のセッションでは「企業のCookieless対応策 ～現在の取り組みと今後」をテーマに、顧客体験を向上させるマーケティングについて語りました。講演の中で田中は「マーケターがプロモーションの領域を超えて、プロダクトの改善にも関与すると、事業は急成長する。」と言及。

当社の取り組みとして「若手マーケターのプロジェクトマネジメント機会を増やす。」「データエンジニアやデータサイエンティストと連携し、高度なデータ活用を可能にする。」などの事例も紹介しました。



福島のセッションでは「マーケティングのインハウス化に向けて企業は何をすべきか？」をテーマに、当社のインハウスマーケティングについて語りました。講演の中で福島は「インハウス化は、事業利益の創出につながる。さらに、顧客理解や若手社員への成長環境の提供になる」と言及。

インハウスマーケティングを成功させるには「目的の明確化→運用体制の決定→七転び八起き→持続的成長のステップをひとつずつ進める。」「インハウス化に必要なマーケターのスキルセットを可視化する。」などの、具体的な事例も示しました。

これからも「誰かのため、社会のために懸命になる人を増やし、世界をよくする」というパーパスのもと、マーケティングイベントでの発信を続けてまいります。

登壇者プロフィール



エン・ジャパン株式会社
執行役員
デジタルプロダクト開発本部 デジタルマーケティング部 部長
田中 奏真

2006年エン・ジャパン新卒入社。
法人営業を経て、マーケターにキャリアチェンジ。
『AMBI』『エンゲージ』『エン転職』など、HR-Techプロダクトのマーケティングを統括。マーケターの採用や組織マネジメントも行なう。



エン・ジャパン株式会社
デジタルプロダクト開発本部 デジタルマーケティング部
クリエイティブグループ マネージャー
福島 愛

2011年エン・ジャパン新卒入社。
法人営業を経て、マーケターにキャリアチェンジ。
広告クリエイティブの責任者として、UI/UXの改善や広告デザインを統括。
Instagram広告などのインハウスマーケティングも推進。



過去に田中・福島が登壇したイベントの様子を
当社WEB社内報『en soku!』にてレポートしています。

田中 : <https://bit.ly/3GVskzG>

福島 : <https://bit.ly/3H0BPgT>

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：清水、高田、齊藤 <https://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー
TEL : 03-3342-6590 MAIL : en-press@en-japan.com